

# 大会に参加するにあたっての注意事項

新型コロナウイルスの感染予防のため、以下の注意事項につきまして、確認・周知していただくとともに、その取組の遵守をお願いします。

## 1 大会前日まで

- ◎ 大会に参加する学校関係者（顧問・選手・補助員等）は、健康管理チェック表（大会前）により、1週間前からの検温と体調の確認を行うこと。また、選手・補助員は、参加同意書を作成すること。
- ◎ 各校顧問は、参加者一覧（様式は申込ファイル内）を作成すること。

## 2 大会当日

[参加者全般]

- ◎ 日本スポーツ協会、日本陸上競技連盟、福岡陸上競技協会が示している「新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を厳守し大会に参加すること。

[顧問]

- ① 学校受付において、申込料の支払いと「健康管理チェック表（4月2日までの分）」・「参加同意書」・「参加者一覧表（当日朝の体温を記入）」を、とりまとめて提出すること。提出がない場合は、大会への参加を許可することができません。
- ② 各校、手洗い、うがいの励行を徹底すること。消毒液の準備をお願いします。
- ③ 各校の待機場所は、メインスタンド（バック・芝生席は解放しない）、及び競技場周辺とする。

[選手・補助員等]

- ① 腋下体温が37.5度を超える選手は、出場することも、観戦することもできない
- ② 大会参加者は、マスクを着用すること（ウォーミングアップ時、競技中を除く）。
- ③ 今回、メインスタンド及び両サイドの芝生席を開放します。場所取りについては、各入口に各校2名以内で整列し、係の指示に従い、整列順に入場するとともに、隣接校との距離を保って場所を選ぶこと。 **（8：00開門）**
- ④ 各校参加者は、待機場所では対面での会話を控え、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ⑤ 出場者は、可能な範囲で、競技時間に合わせて来場し、競技終了次第帰ることが望ましい。
- ⑥ チームによる応援は行わないこと（声を出しての応援は厳禁）。集合等も極力控えること。
- ⑦ 滑り止め（炭酸マグネシウム）は、必要に応じて個人で準備すること。

[保護者]

- スタンド等での入場制限は行いませんが、当日は、検温、手指消毒、マスク着用等の感染対策を行うとともに、当日、発熱等の体調がすぐれない場合は、来場をお控えください。

[報道関係者]

- 報道関係者は、「【大会前】体調管理チェック表」を、受付をとおして、大会本部に必ず提出すること。提出がない場合は、取材・撮影等を許可しない。

## 3 大会終了後

[参加者全般]

- 健康管理チェック表（大会後）により、終了後2週間の検温と体調の確認を行うとともに、
- 体調等に異変が見られた場合は、久留米市陸協理事長（廣木）まで連絡すること。

## 4 問合せ先

久留米市陸上競技協会 清水（080-1721-9403）

## 競技注意事項(2022 西日本)

参考

- 1 本大会は、2022年度日本陸上競技連盟規則によって実施する。
- 2 アスリートビブス(ナンバーカード)は、2021年度の登録番号とする。
- 3 選手変更は、8:30までに、総務に届け出ること。
- 4 ウォーミングアップ等は、補助競技場を使用すること。但し、投擲練習は禁止する。
- 5 招集について

- (1) 招集所は、スタンド下雨天練習場に設ける。
- (2) 招集時刻は、次のとおりとする。

区分	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始40分前	20分前
フィールド競技 (棒高跳)	競技開始60分前 (90分前)	40分前 (60分前)

- (3) リレーのオーダー用紙は、招集完了60分前までに、招集所に提出すること。
  - (4) 棄権する場合は、招集完了時刻までに競技者係まで届け出ること。
  - (5) 選手は、招集所にて本人がチェックを受けること。トラック競技に出場する選手は、腰ナンバーカードを受け取り、パンツ右側後方に付けること。その後、競技開始時間に合わせて、最終点呼を受けること。
  - (6) 靴底の厚さが規定の範囲内であることの確認ができていない場合、招集所において「靴底の計測」を受けること。
- 6 競技用靴は、スパイクの長さは7mmを超えてはならない。走高跳及びやり投げの場合は9mmを超えてはならない。本数は、11本以内であれば何本でもよい。
- また、トラック競技において、

靴底の厚

- 7 5,000mは19分、3,000mは13分経過後に信号機で合図し、その時点で競技を終了する。
- 8 個人で持参する用器具の検定は、競技開始60分前までに、用具倉庫前(100mスタート地点付近)にて実施する。なお、棒高跳用のポール及びハンマーは、現地とする。
- 9 滑り止め(炭酸マグネシウム)は、競技者個人が必要に応じて持参し、使用すること。
- 10 走幅跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。

走高跳	(練習)	
中学男子	1m10	1m15-1m20-1m25-1m30-1m35-1m40-1m43 (以降3cm刻み)
中学女子	1m00	1m05-1m10-1m15-1m20-1m25-1m30-1m33 (以降3cm刻み)
高校男子	1m40	1m45-1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-1m73 (以降3cm刻み)
高校女子	1m30	1m35-1m40-1m45-1m43 (以降3cm刻み)

※ 天候、その他の理由で変更する場合もある。

- 11 フィールド競技の計測ライン及び計測方法、決勝試技について
  - (1) 計測ラインは、特に設けない。
  - (2) 投擲種目は、1cm刻みで計測する。
  - (3) 投擲・跳躍種目での決勝ラウンド試技順序は、記録が下位の選手からとする。
- 12 競技会中に発生した負傷及び疾病について、主催者で応急処置は行うが、以後は各自・各校にて行うこと。(当日は、主催者で傷害保険に加入、熱中症は対象外)
- 13 その他
  - 「要項」及び「注意事項」に記載した内容に基づき、新型コロナウイルス感染予防対策を十分に行うこと。
  - 大会中は、原則、マスクを着用すること。(ウォーミングアップ時、競技中は除く)
  - 選手等が競技場に入出入りする場合は、100mスタート・ゴール付近のゲートからのみとする。正面玄関の通行は禁止する。
  - 投擲種目に出場する選手は、競技役員の指示に従い、事故防止に留意すること。
  - 応援については、拍手のみとする。(声を出しての応援は厳禁)